



Steam Humidifier

スチーム式加湿器
XQK-V040

取扱説明書（保証書付）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書（保証書付）はいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

もくじ

安全に正しくお使いいただくために	1-3	クエン酸洗浄のしかた	13
お願い	4	保管するときは	14
設置場所について	4	仕様	14
各部のなまえ	5	故障かな?と思ったら	15-16
ご使用の前に	6-7	アフターサービスについて	17
使いかた	8-9	お客様ご相談窓口のご案内	18
アロマポットの使いかた	10	保証書	裏表紙
お手入れのしかた	11-12		

取扱説明書・保証書には製品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している形名の()内の記号が色記号です。

この製品は日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠警告 : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意 : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

 は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止
	 水ぬれ禁止	 接触禁止	
 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	 必ず行う	 さし込みプラグを抜く	

●本体表示の意味です。

 は、ご使用上「注意」していただく内容です。	 やけどに注意	 感電に注意
--	--	---

「安全に正しくお使いいただくために」のイラストは、説明のための例です。実際の商品とは異なります。

⚠ 警告



異常・故障時には、 直ちに使用を中止する

そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがに至るおそれがあります。

〈異常・故障例〉

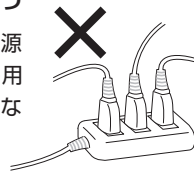
- さし込みプラグやコードがふくれるなどの変形や変色、損傷している。
- さし込みプラグやコードが、いつもより熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
- 本体やタンクから水漏れする。
- 商品に触れると、ビリビリと電気を感じる。

※すぐにさし込みプラグを抜いて、±0カスタマーサポートセンターへ連絡ください。
(☎ 18ページ)



電源は交流100V、定格15A以上の コンセントを単独で使う

交流200V・船舶などの電源で使用したり、他の器具と併用すると、火災・感電の原因となります。



さし込みプラグ・マグネットプラグ・ プラグ受けは清潔にする

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



本体を水につけたり、かけたりしない

開口部から水が入り込み、ショート・感電の原因になります。



さし込みプラグ・マグネットプラグは、 奥まで確実にさし込む

さし込みが不完全だと、火災・感電・ショートの原因となります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



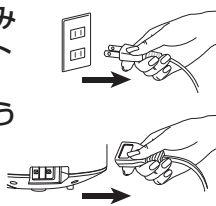
ぬれた手でさし込みプラグ・ マグネットプラグの抜きさしはしない

感電やけがをすることがあります。



お手入れはさし込み プラグ・マグネット プラグを抜いて 十分冷めてから行う

感電の原因となります。



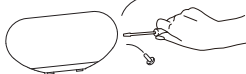
使用中や使用後しばらくは、 蒸気吹出口にさわったり、顔などを 近づけない

やけどの原因になります。
特に乳幼児にはさわらせ
ないよう、注意してくだ
さい。



修理・分解・改造はしない

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、±0カスタマーサポートセン
ターへ連絡ください。
(☎ 18ページ)



使用中や使用後しばらくは、 持ち運びや、お手入れをしない

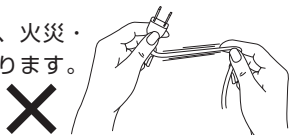
やけどの原因になります。



コードは乱暴に扱わない

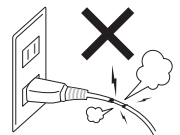
電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、熱器具に近づけたりしない また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない

コードが破損し、火災・感電の原因となります。



コードやプラグが傷んだときは使わない
コードの一部やさし込みプラグが熱いとき、コードを動かすと通電したり、しなかったりするとき、コンセントのさし込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために 必ずお守りください

⚠ 警告



お手入れに下記の洗浄剤は使用しない
塩素系・酸性タイプ・アルカリ性・ボット用
洗浄剤（固形）

有毒ガスが発生し、健康を害したり、故障の
原因になります。



幼児の手の届く所で使わない

●水こぼれに注意

過って本体に力を加えると本体が傾き、
水や熱湯があふれ、水ぬれややけどの
原因になります。

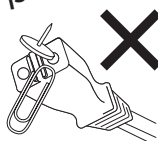
●マグネットプラグをなめさせない

感電・けが・誤飲する
原因となります。



マグネットプラグにピンや
ごみを付着させない

感電・ショート・発火の原
因となります。

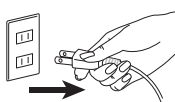


⚠ 注意



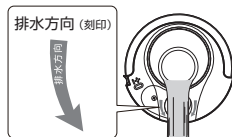
さし込みプラグを抜くときは
電源コードを持たずに
必ずさし込みプラグを
持って引き抜く

感電やショートによる発火を防ぐためです。



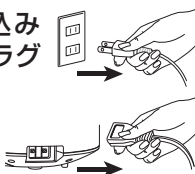
排水するときは、必ずフタ（フード）を
取り、排水方向に排水する

排水方向を誤ると、本体
開口部より水が入りこん
で火災・感電の原因に
なります。



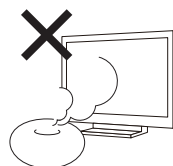
使わない時は、さし込み
プラグ・マグネットプラグ
を抜いて排水する

絶縁劣化して火災・感電・
水濡れの原因となります。



暖房機・テレビなどの電化製品や、熱
に弱いテーブルなどの上やすぐ近くで
使用しない

転倒すると漏れた水によって、
感電・ショートの原因になりま
す。また、本体底面の熱により
テーブルの変形・変色の原因
になります。



フタ（フード）・クリーニングフィルター
をはずしたまま使用しない

蒸気が吹出口以外から漏れ出す場合があります。



ハンドルをもって振り回さない

落とすとけがの
原因になります。



落としたタンク・本体を使用しない

そのまま使うと破損箇所から
水漏れして、ショート・感電・
発火の原因になります。



何度もタンクを上下に動かさない

水や熱湯があふれ、
水漏れ・やけどの
原因になります。



タンクにアロマオイルや40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れて使用
しない

変形や故障の原因になります。また、熱湯があ
ふれ、やけど・感電の原因になります。



タンクをセットした
まま本体を持ち運
ばない

傾けると熱湯があふれ、
やけどの原因になります。



アロマオイルは、
付属の容器以外には
入れない

本体に入ると熱湯があふれ、
やけど・感電の原因になります。



アロマポットを
幼児の手の届く所に
置かない

誤飲の原因になります。

お願い 製品の破損・劣化・誤作動を防止するために必ずお守りください

●タンクセット時や運転中に本体を傾けない

本体とタンクのすきまから熱湯や水が漏れることがあります。

●タンクや本体の結露は、タンクをセットする前にふきとる

結露とは、タンク内面などについた水蒸気が温度や湿度の変化などにより冷えて、水滴になる現象です。

結露がおこった場合は、ふいてください。また、床面に落ちた水滴もふいてください。

そのまま乾くとぬれた場所が変色する場合があります。

●蒸気吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで蒸気吹出口をふさぐと、変形や故障の原因になります。

●加湿しすぎない

室内の結露や、カビが生える原因となります。

●こまめにお手入れをする

加熱皿に水アカが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や、故障の原因になります。

●凍結に注意する

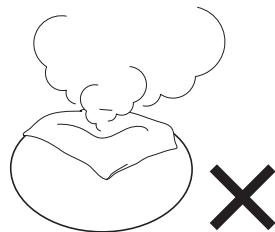
凍結の恐れがあるときは、タンクと本体の水を捨ててください。

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

●水道水（飲用）以外は使わない

化学薬品・芳香剤・香料・アロマオイル・汚れた水・海水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・マイナスイオン水などを使用すると、本体内部に付着する水アカが多くなったり故障の原因になります。

ミネラル浄水器の水などを使用すると、より水アカが多くなり、故障の原因になります。



設置場所について

●必ず安定した水平な場所に置いてください

●図の様に周囲との距離を十分にとってください

こんな場所に設置しない

●直接日光のあたる場所、温風があたる場所、暖房機・テレビ

などの家電製品や熱に弱いテーブルなどの上やすぐ近く

タンク内の空気が膨張し、お湯があふれることがあります。

転倒すると漏れた水によって、感電・ショートの原因になります。

また、本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

●蒸気が家具・壁・カーテン・天井などに直接あたる場所

家具・壁・カーテン・天井がいたんだり、しみや変形の原因になります。

●床や畳の上

つまずいてけがや、やけどの原因になります。

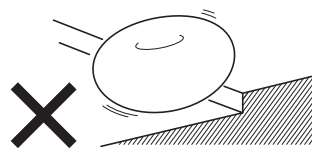
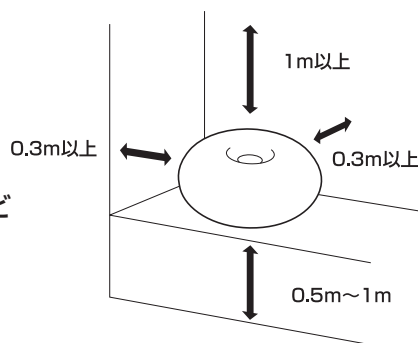
また、本体底面の熱により床材や畳が変色することがあります。

●カーペットやじゅうたん、ふとんなど柔らかいものの上

底面がふさがれると、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置がはたらくことがあります。また、転倒OFFスイッチがはたらき、運転しないことがあります。

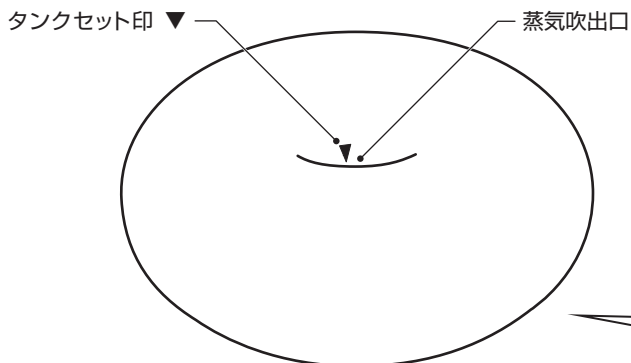
●高所や不安定な場所

転倒すると熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。

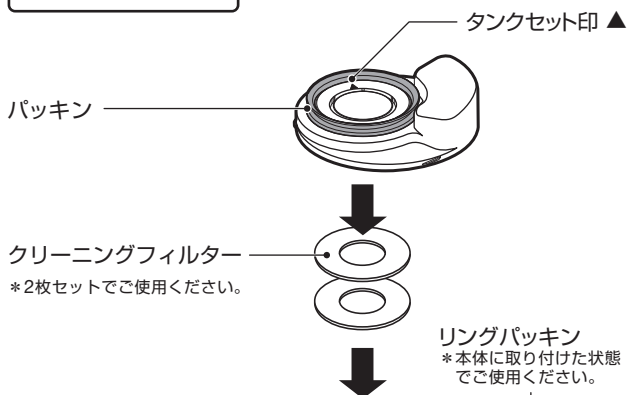


各部のなまえ

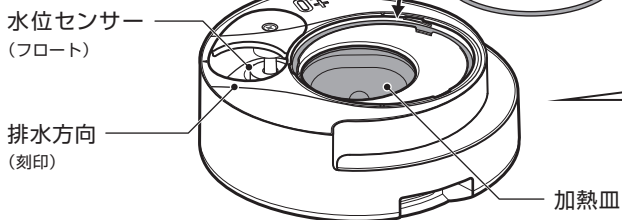
タンク



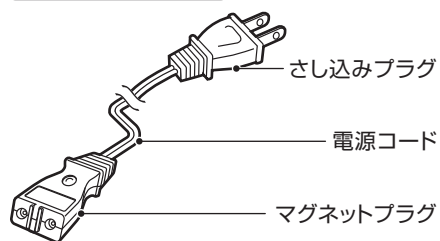
フタ（フード）



本体



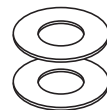
コードセット



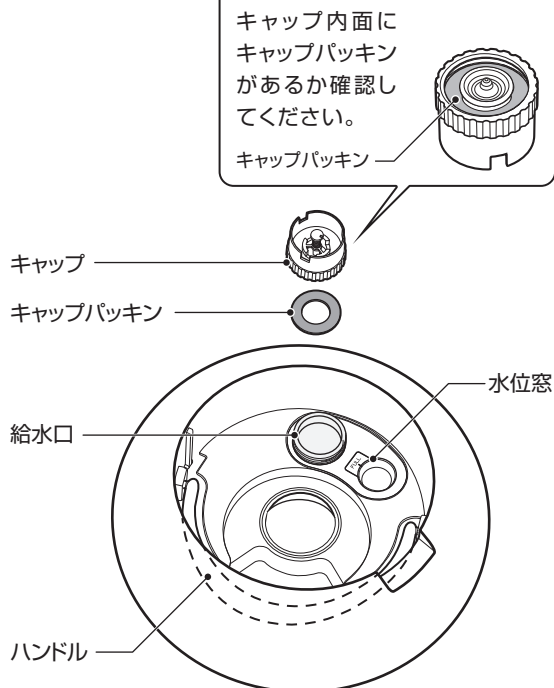
付属品



クリーニングフィルター(2枚)
*お買上げ時、本体に付属品と
別に2枚セットされています。



タンク内面

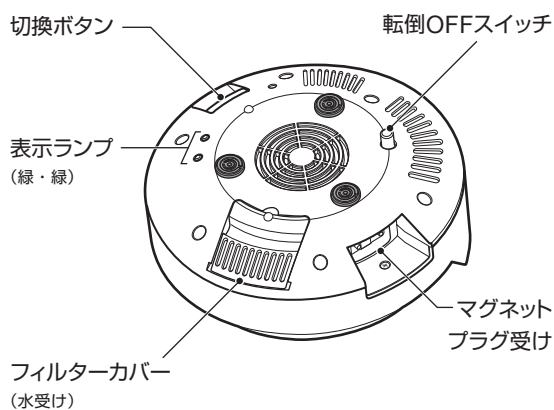


キャップ内面

キャップ内面に
キャップパッキン
があるか確認し
てください。

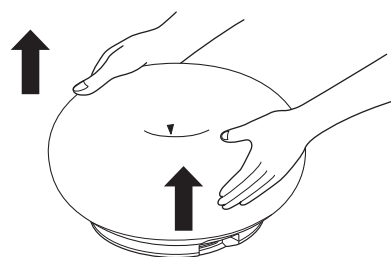
キャップパッキン

本体底面



1. タンクを取りはずす

タンクは両手で持ってください。
タンク内面のキャップに付着した水が落ちることがありますので、ゆっくり真上に持ち上げてください。



2. タンクを裏返し、水平な台の上に置く

*タンク内面に持ち運びに便利なハンドルがついています。

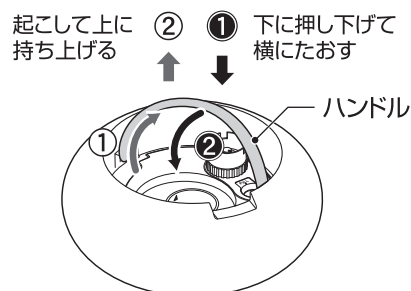
●ハンドルのセットのしかた

- ①ハンドルを起こします。
- ②ハンドルを上を持ち上げます。

●ハンドルのしまいかた

- ①ハンドルを下に押し下げます。
- ②ハンドルを横にたおします。

※ハンドルを起こして持ち上げた状態で無理に横にたおさないでください。ツメが折れる場合があります。



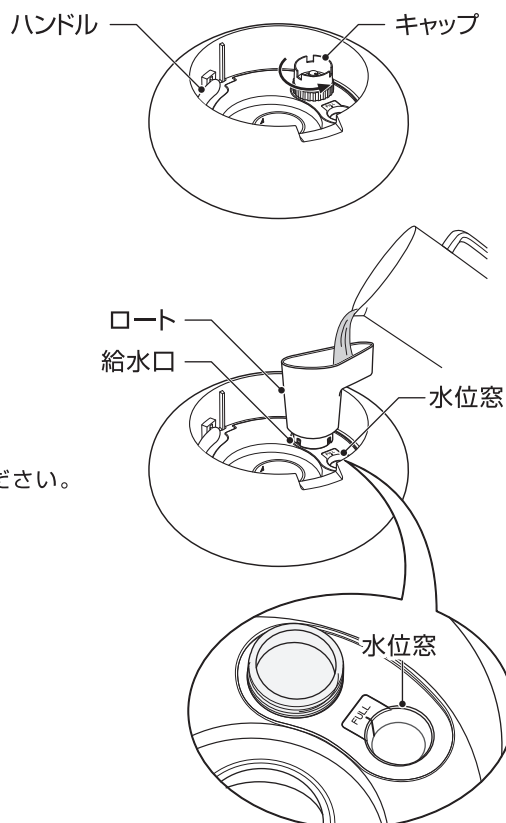
3. タンクに水を入れる

- ①キャップをはずします。
矢印の方向へまわしてください。(反時計回り)
※ハンドルをたおした状態にしてください。

- ②付属のロートを給水口にさし込みます。

- ③水を入れます。
水位窓の水位線以上に水を入れないでください。
給水はタンクを水平に保ちながら、少しずつ入れてください。

- ④キャップをしっかりと締めます。
本体へセットする前に、タンクについた水分をよくふきとってください。



芳香剤やお湯(40℃以上)、不純物の多い水などを
入れないでください。

本体には直接水を入れないでください。

必ずタンクに水を入れた状態で使用してください。

ご使用の前に (本体にセットする)

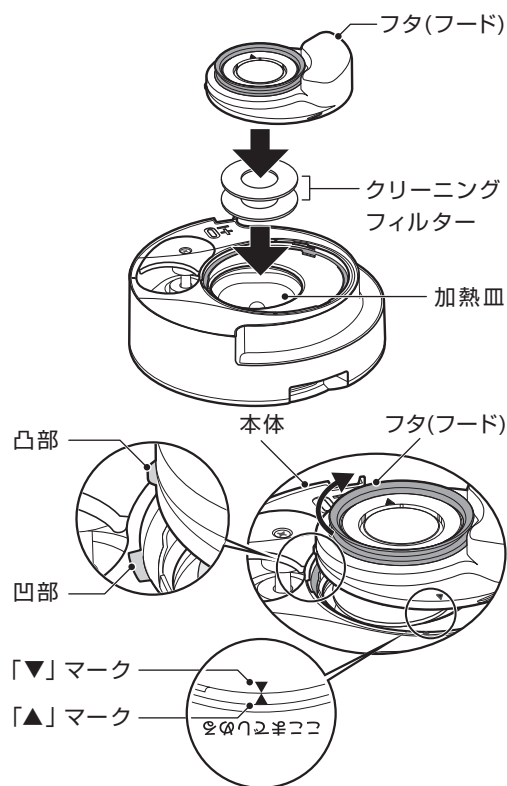
4. 本体にフタ(フード)をセットする

※お買上げ時は、本体にセットしてあります。

- ①加熱皿にクリーニングフィルターを2枚入れます。
※クリーニングフィルターは必ず、2枚セットでご使用ください。

- ②フタ(フード)の凸部(3カ所)と本体凹部(3カ所)を
合わせてはめ込みます。

- ③時計回りにまわし、セットします。
※本体の「▲」マークとフタ(フード)の「▼」マーク
が合うまで回してください。



5. タンクを本体にセットする。

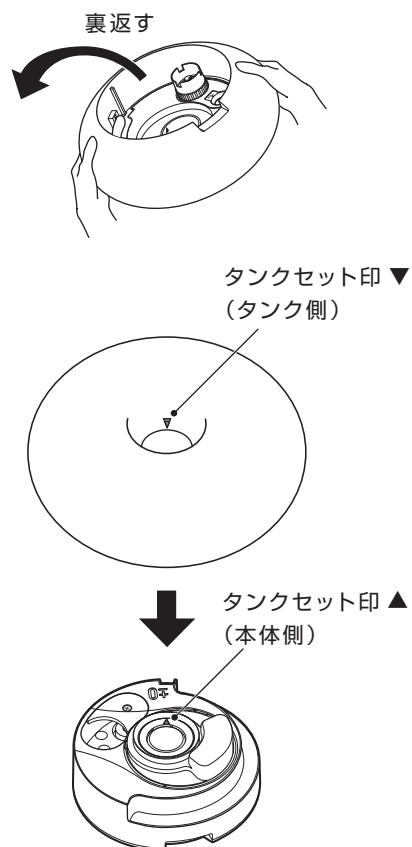
- ①本体を安定した水平な場所に置きます。

- ②水を入れたタンクを裏返します。
※タンクのハンドルがたおれていること、キャップがしまっている
ことを確認してください。

- ③タンクと本体のタンクセット印が合うようにタンク
を水平にし、ゆっくりおろしてセットします。
※蒸気漏れを防ぐため、タンクをセットした後タンクを軽く押さ
えて、タンクが正しくセットされたことを確認してください。

※タンクをセットした後に移動させないでください。
水漏れ、故障の原因になります。

※加湿開始までの時間は、室温や水温によって変わります。



※タンクの着脱を繰り返したり、水の入ったタンクを本体に
セットした後に移動させたりすると、タンクから本体に水が
必要以上に流れて、水があふれることがあります。
このような場合は、本体内の水を全て排水し、タンクを
再セットしてください。(P.15ページ参照)

1. コードセットを接続する

① マグネットプラグを本体に接続します。

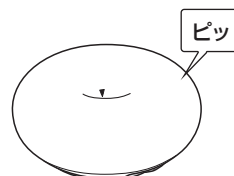
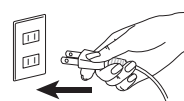
※本体を傾けてマグネットプラグを接続しないでください。送風口から水が入り込み、故障の原因になったり、本体に水が必要以上に流れて水量が増え、熱湯があふれ出る原因になります。



② さし込みプラグをコンセントに確実にさし込みます。

電源が入ったことをお知らせする操作音が、「ピッ」と鳴ります。

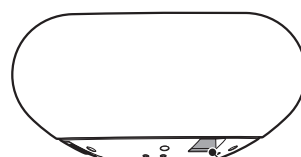
※必ず本体にマグネットプラグを接続してから、さし込みプラグをさし込んでください。



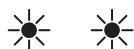
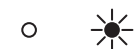
2. 切替ボタンでお好みの運転にセットする

押すたびに「標準モード」→「長時間モード」→「切」の順で切り換わります。

切替ボタンを押すと操作音になり、表示ランプが点灯・消灯します。



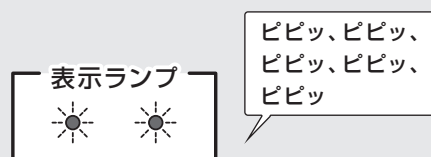
表示ランプ 切替ボタン

標準モード …… 消費電力230Wで加湿します。 (加湿量 約300ml/h) 約5分後に加湿を開始します。	表示ランプ  ピピッ
長時間モード …… 「標準モード」の約半分の消費電力で加湿します。 (加湿量も約半分にになります。) 約7分後に加湿を開始します。 ※最初から「長時間モード」を使用されるときは、加湿開始時間を速くするため、一定温度に上昇するまで消費電力230Wで加湿します。	表示ランプ  ピッ
切 …… 加湿しません。 加湿運転(=ヒーターの加熱)は停止しますが、冷却のため送風ファンは約20分後に停止します。	表示ランプ  ピー

タンクの水がなくなると...

加湿運転中、左右の表示ランプが同時に点滅し、お知らせ音になります。タンクに水を入れ、セットしてください。

※ヒーターの加熱は停止しますが、送風ファンは約20分後に停止します。



使いかた

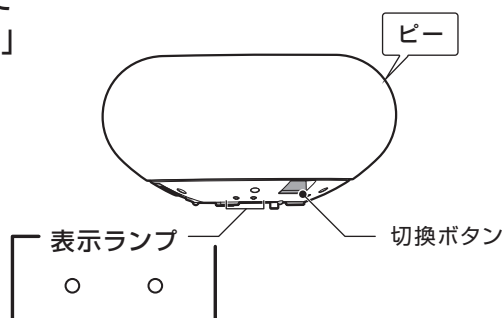
3. 切換ボタンを押して「切」にする

「標準モード」でご使用の場合は2回、「長時間モード」でご使用の場合は1回押すと、操作音（ピー）が鳴り「切」の状態になります。

※表示ランプは、左右共に消灯します。

さし込みプラグを抜いたり、マグネットプラグを抜いたりして「切」にしないでください。

冷却のための送風ファンも停止し、故障の原因になります。



長期間使用しないときは

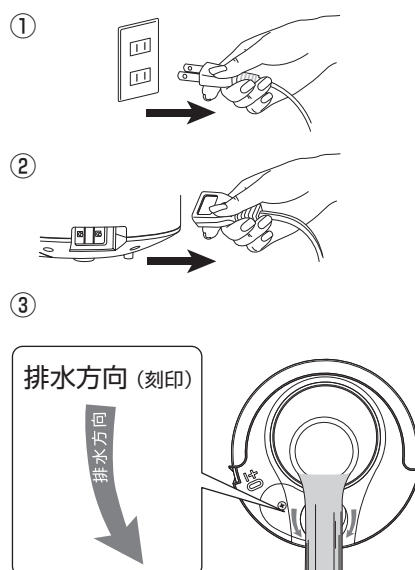
①さし込みプラグをコンセントから抜きます。

②マグネットプラグを本体からはずします。

③フタ（フード）をはずし、本体およびタンクに残った水を排水します。

※必ずフタ（フード）をはずし、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくりと排水してください。

※タンクの水の排水方法は、14ページの「保管するときは」の1をご覧ください。

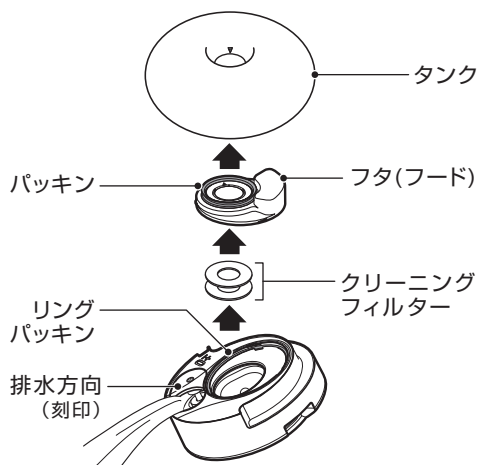


本体の水の捨てかた

タンクをはずし、本体からフタ（フード）・クリーニングフィルターを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくりと排水します。

※排水するときは、さし込みプラグを抜いてしばらく放置し、本体内部のお湯が十分冷めてから行ってください。

※パッキンがはずれたら、もと通りに取り付けてください。



アロマポットの使いかた

※アロマオイルは別売品または市販品をお買い求めください。

1. アロマオイルをアロマポットに入れる

アロマオイルを入れるときは、必ずアロマポットをタンクからはずして行ってください。

※アロマオイルが加熱皿に入ると、熱湯があふれる原因になります。

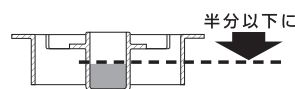
アロマオイルはポットの半分以下でご使用ください。

※アロマポットに水滴が入るなどして、ポット内のアロマオイルの水位が半分以上になった場合には、すみやかにオイルを捨て、オイル水位が半分以下の状態を保ってご使用ください。

※スポイト等を使用してください



※半分以下で使用してください



別売品：エッセンシャルオイル

エッセンシャルオイルとは、化学的に合成された香料ではなく植物から抽出された揮発性のアロマオイルのことです。お買い上げの販売店または±0カスタマーサポートセンター、±0 オンラインストアにてお買い求めください。
(☞P18ページ)

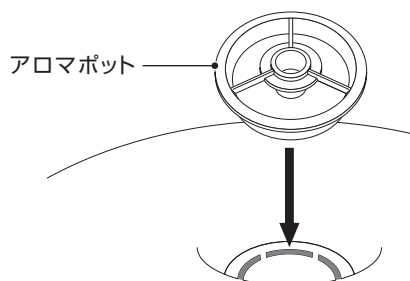
形名：ZWE-R010(リラックスブレンド) / ZWE-R020(リフレッシュブレンド) / ZWE-T030(シトラスブレンド)
メーカー希望小売価格：1,050円(税込)
(希望小売価格は2011年 9月現在のものです。)

2. アロマポットをタンク中央にセットする

アロマポットをセットする場合は、アロマオイルがこぼれないようにご注意ください。

※アロマオイルが加熱皿に入ると、熱湯があふれる原因になります。

※セット・取りはずしは、使用中・使用後しばらくは行わないでください



※アロマポットのセット、取りはずしは使用中や使用後しばらくは行わないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルはアロマポット以外には入れないでください。熱湯があふれる原因になります。

※使用中にアロマオイルの追加をしないでください。やけどの原因になります。

※アロマオイルが加熱皿やフタ(フード)に落ちたときは、使用を中止し水を捨て、よくふきとってから使用してください。

※アロマオイルの原液がタンクの塗装面についたときは、ただちに十分にふきとってください。塗装ハガレの原因になります。

別売品：加湿器アロマポット

お買い上げの販売店または±0カスタマーサポートセンター、±0 オンラインストアにてお買い求めください。
(☞P18ページ)

形名：XQP-R010(2個入り) ※カラーは無色半透明です。

メーカー希望小売価格：1,050円(税込)

(希望小売価格は2011年 9月現在のものです。)

お手入れのしかた 週に1~2回行ってください

*お手入れは定期的に行ってください

※汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

※ベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください。
本体や部品を傷めます。

⚠ 警告



お手入れはさし込み
プラグ・マグネット
プラグを抜いて十分
冷めてから行う

感電ややけどの原因となります。



お手入れに下記の洗剤
は使用しない

塩素系・酸性タイプ・アルカリ
性・ポット用洗剤(固形)

有毒ガスが発生し、健康を害し
たり、故障の原因になります。



本体を水につけたり、
かけたりしない

開口部から水が入り込み、ショー
ト・感電の原因になります。



お手入れ後は十分乾燥させ、各部品は正しくセットしてから使用する

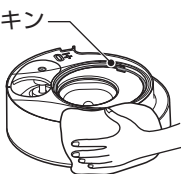
感電・水漏れの原因になります。

本 体

柔らかい布でふきます。

※汚れがひどいときは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)を
しみ込ませた柔らかい布でふいてから、乾いた布でふきとっ
てください。

※リングパッキンが正しく リングパッキン
セットされているか、確認
してください。

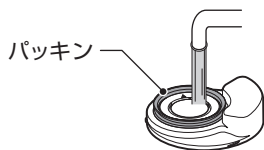


フタ(フード)・パッキン

水で流し洗いをします。

(パッキンがはずれたら、もと通りに取り付けてください。)

※パッキンが消耗すると、湯気がタンク内側に漏れ、結露・
水滴が多量に発生しやすくなります。(冬場など、タンクと
加熱皿の温度差により結露が発生する場合がありますが、
これはパッキンの消耗ではありません。)



フタ(フード)は消耗品です。

タンクの裏に水滴が多量につくようになった場合は、
交換品を±0カスタマーサポートセンターにてお買い
求めください。(P18ページ)

メーカー希望小売価格：1,050円(税込)

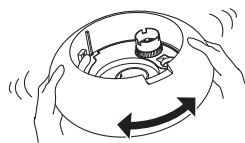
(希望小売価格は2011年 9月現在のものです。)

タンク

タンクに少量の水を入れ、キャップを締めてよく振って洗った
後、排水します。

(タンクを落とさないようにご注意ください。)

※汚れがひどいときは、2~3回
くり返してください。

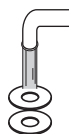


※アロマオイルの原液がタンクの塗装面についたときは、
ただちに十分にふきとってください。塗装ハガレの原因
になります。

クリーニングフィルター

水を流しながら柔くなるまでもみ洗いをします。

※水アカがたまるとクリーニング
フィルターが固まり、加湿量の
低下や水漏れの原因になります。



クリーニングフィルターは消耗品です。

水アカがこびりついたり、破れた場合は交換品を販売
店または ±0カスタマーサポートセンター、±0 オンラ
インストアにてお買い求めください。(P18ページ)

形名：XQF-Q010(10枚入り)

メーカー希望小売価格：1,050円(税込)

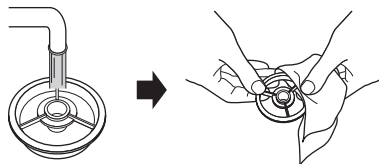
(希望小売価格は2011年 9月現在のものです。)

*捨てる時は、不燃ゴミとして捨ててください。

アロマポット

うすめた台所用中性洗剤(食器用)で洗い、水で流します。
水をよくふきとってください。

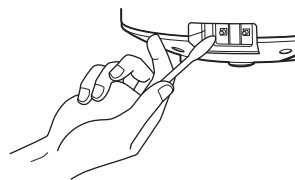
※アロマオイルが手についた場合は、せっけんでよく洗ってください。



マグネットプラグ受け・マグネットプラグ

さし込みプラグとマグネットプラグを抜きます。

マグネットプラグ受け、マグネットプラグについたほこりを綿棒等でふきとります。



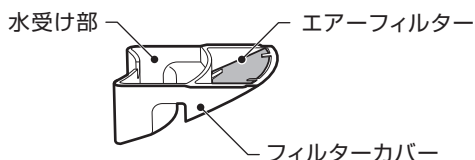
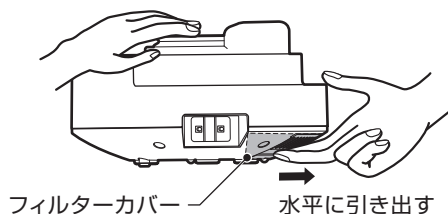
フィルターカバー(エアーフィルター)

図のように水平に引き出してください。

水受け部に水がたまっているときは捨ててください。

エアーフィルターをはずし、軽く手でたたいてほこりやごみを取り除いてください。汚れがひどい場合は、水洗いし日かげで干してください。

フィルターカバーは、うすめた台所用中性洗剤(食器用)で洗い、水で流してください。



頻繁に水受け部に水がたまる場合や、水が床に漏れている場合は、
±0カスタマーサポートセンターにご連絡ください。(☎ 18ページ)

加熱皿

本体からフタ(フード)・クリーニングフィルターを取り、本体に刻印されている「排水方向」に本体を傾けて、ゆっくりと排水します。

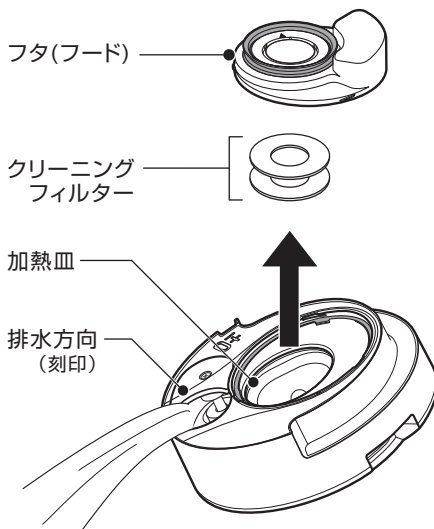
※排水するときは、さし込みプラグを抜いてしばらく放置し、本体内部のお湯が十分冷めてから行ってください。

水アカやごみを取り除き、柔らかい布で水ぶきをしてください。

※お手入れをしない期間が長くなると、加熱皿のフッ素被膜がはがれたり、水アカが落ちにくくなりますので、週に1~2回はお手入れしてください。フッ素被膜がはがれても、加湿性能には影響ありません。

※水アカが落ちにくいときは、クエン酸洗浄を行ってください。
(☎ 13ページ)

※加熱皿を金属タワシ等でこすらないでください。
傷がつく原因になります。



本体内部に水が入ってしまった場合は

ただちにご使用を中止し、±0カスタマーサポートセンターへご相談ください。(☎ 18ページ)

クエン酸洗浄のしかた

加熱皿の水アカが落ちにくいときは以下の手順でクエン酸洗浄を行ってください。

1. タンク・フタ(フード)を取りはずし、排水方向から残った水を排水します。

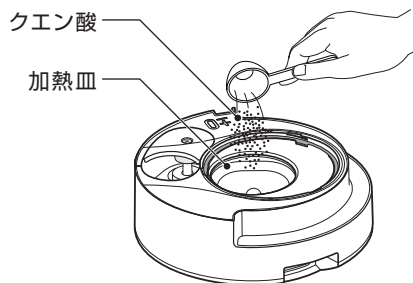
2. 加熱皿にクエン酸約2.5g(計量スプーン小で約半分)を入れ、フタ(フード)を取り付け、タンクに水を水位線まで入れて、セットします。

※クエン酸が多いと、故障の原因になります。

※クエン酸は、必ず市販の顆粒タイプを使用してください。

※固形タイプ(ポット用洗浄剤など)を使用すると必要以上に気泡が発生し、蒸気吹出口から沸騰水がでることがあります。

※お買い求めのクエン酸洗浄剤の注意書をよく読み、正しくお使いください。



3. コードセットを接続し、切換ボタンを1回押し加湿「標準モード」で1時間加湿します。

4. 切換ボタンを2回押して「切」にし、1時間以上冷ましてからタンク・フタ(フード)をはずし、排水方向から水を捨て柔らかい布で残った水アカをふきとります。

5. 再度フタ(フード)・タンクをセットし、加熱皿に水がたまってからタンク・フタ(フード)を取りはずし排水します。このすすぎ洗いを2～3回繰り返します。

6. タンクの水を入れ替えます。

※タンク内にもクエン酸成分が残ることがありますので、臭いの原因になります。

※クエン酸の臭いが発生するため、換気しながら行ってください。

※クエン酸は、食品添加物で食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

お知らせ

水アカは、水道水に含まれているミネラル分(カルシウム、マグネシウム等)が析出したものです。水アカがたまるとクリーニングフィルターが固まり、加湿量の低下や水漏れ、不具合の原因になります。

保管するときは

＊加湿器のご使用を終了し、保管するときは、必ずお手入れを行ってください。
＊水アカや水分が残ったまま加湿器を保管すると、再度お使いになる際に正常動作しない場合があります。

1. お手入れの後、水をふきとり十分に乾かす

タンク内の排水は、シンクや洗面台などで行ってください。

- ①タンクキャップが上を向いていることを確認し、キャップを開けます。
 - ②そのままタンクをゆっくり逆さまにし、水を抜きます。
 - ③ある程度水を抜ききったら給水口を下に傾けて、左右に振りながら完全に排水します。
 - ④最後に給水口から柔らかい布などを入れ、残った水滴を吸い取ります。
- ※布などがタンク内に落ちてしまわないようにご注意ください。

2. お手入れ、水抜きが終わったら、本体、タンク、アロマポット、クリーニングフィルター、エアフィルターの水をよくきり十分乾かす

風通しが良く日の当たらない場所に、24時間以上置いて自然乾燥させてください。

本体はタオルなどを敷いた上に「逆さま」にした状態で乾燥させてください。

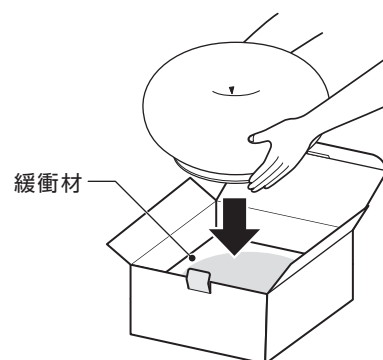
※11、12ページの「お手入れのしかた」をご覧ください。

3. お買上げ時の包装箱に入れて保管する

※コードはポリ袋に入れてください。

緩衝材(発砲スチロール)に触れると、コードが傷みます。

※高温になるところを避け、湿気の少ないところに保管してください。



仕様

形名	XQK-V040
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	230W(標準モード時) 115W(長時間モード時)
加湿時間	約8時間(標準モード時) 約18時間(長時間モード時)
加湿量	約300ml/h(標準モード時) 約130ml/h(長時間モード時)
適用畳数(めやす)	木造/和室 5畳(約8m ²) プレハブ/洋室 8畳(約14m ²)
タンク容量	約2.4L
外形寸法	約H155.5×W305×D305mm
質量	約2kg(タンク空時)
コード長	約2m
付属品	ロート、クリーニングフィルター(2枚)、アロマポット

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをお確かめください

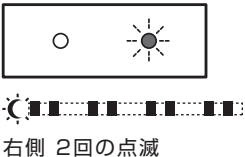
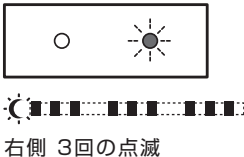
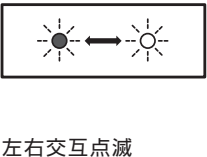
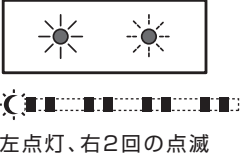
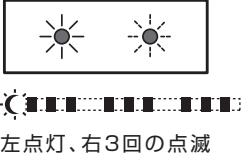
症状	原因	処置
蒸気がでない	●タンクの水がなくなっている。	▶タンクに水を入れてください。
蒸気におう	●加熱皿やクリーニングフィルターが汚れている。	▶お手入れのしかたの通りに、汚れを取り除きます。 (☞11、12ページ)
	●古い水を使っている。	▶本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。
本体から水があふれる	●タンクのキャップから水漏れしている。	▶タンクのキャップをきちんと締めてください。それでも水漏れするときは、±0カスタマーサポートセンター(☞18ページ)にご相談ください。
	●タンクに水が入った本体を移動させたり、タンクを何度も上下させた。 ●本体を傾けたまま運転した。または、本体に直接給水した。	▶本体内の水を全て排水し、タンクを再セットしてください。 再セット後は、タンクを上下させたり本体を移動させないでください。
	●芳香剤や40℃以上のお湯・不純物の多い水を入れた。	▶本体内とタンクの水を全て排水し、水を入れ直します。

次のような場合は故障ではありません

症状	原因
タンクをセットしたときや使用中にポコポコと音がする	●タンクから本体に水が流れるためです。
なかなか蒸気がでない	●切換ボタンを押してから、加湿が始まるまでに時間がかかります。(☞8ページ) 室内の温度や湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。
運転中に音がする	●ファンの回転音や沸騰音で、故障ではありません。
タンクの水がなくなっても送風が続いている	●ヒーターの加熱が停止しても、内部のファンは冷却のため約20分間は作動しています。 故障ではありません。
水滴がつく 下に水がたれる	●タンク内面などについた水蒸気が温度や湿度の変化などにより結露し、水滴が落ちる場合があります。タンクや本体についた水滴はタンクをセットする前にふいてください。 床面に落ちた水がそのまま乾くと、ぬれた場所が変色する場合があります。
加湿運転中に 左右の表示ランプが点滅する	●タンクの水がなくなったためです。 タンクに水を入れて、セットしてください。

異常表示について

誤った使いかたをすると運転を停止し、状況に応じて表示ランプが次のように点滅します。また、お知らせ音(ピーピーピーピー)になります。

異常表示 ランプ	 右側 2回の点滅	 右側 3回の点滅	 左右交互点滅
原因	●温度過昇防止器がはたらいています。		●温度センサーの故障です。 ●ヒーターの故障です。
点検	●エアフィルターが汚れ、つまっていませんか。 ●蒸気吹出口がふさがれていませんか。 ●底面がふさがれていませんか。 ●机の下など、狭い囲まれた場所で使用していませんか。 ●近くに他の暖房器具などありませんか。		
処置	①さし込みプラグを抜いて、本体をよく冷ましてください。 ②点検をして、温度過昇防止器がはたらいた原因を取り除いてください。		●使用しないで ±0 カスタマーサポートセンターにご相談ください。(P18ページ)
処置しても 同じ場合	●水位センサー(フロート)の異常です。 ●水路がつまっています。  ●使用しないで ±0 カスタマーサポートセンターにご相談ください。(P18ページ)		
温度過昇防止器が はたらいたまま、 処置をしないで 本体の温度が下が ると次の表示にな ります。	 左点灯、右2回の点滅	 左点灯、右3回の点滅	
	●この場合も処置を行ってください。 ※処置をしないと再度異常ランプが点滅します。		

アフターサービスについて

保証書

- 保証書は必ず「お買い上げ日・取扱販売店名」等所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、お買い上げ販売店からお受け取りいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理…保証書の記載内容により、±0 カスタマーサポートセンターが修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このスチーム式加湿器の補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスのお問い合わせ

修理に関するご相談ならびにご不明な点などは、±0 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

※製品に異常のある場合に、お客様ご自身で修理されたり手を加えたりすることは大変危険です。絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は下記へご連絡ください。

±0 カスタマーサポートセンター



ナビダイヤル

0570-01-5380

受付時間：月～金曜日 10～17時

※ 祝日、年末年始および弊社休業日を除きます。

〒410-1302 静岡県駿東郡小山町中島44-3 FAX:0570-07-5380

メールでのお問い合わせ：<http://www.plusminuszero.jp/support/>

呼び出し音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。

(注) なお、上記番号はPHSではご利用いただけません。おそれいりますが、一般の電話か携帯電話をご利用ください。

消耗品・別売品のご購入は下記オンラインストアをご利用ください。

±0 オンラインストア

<http://www.pmz-store.jp>

(注) 一部の商品は送料が別途かかる場合があります。